

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月16日更新

事務事業名		ひとり親家庭福祉協議会等助成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	こども部
	施策	5	こども・子育て支援の充実		所属課	こども未来課
	業務分野	18	子育てと仕事の両立支援		所属班	こども支援班 (内線) 1627
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 1	事業連番 10604 法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始             事業期間			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	母子寡婦福祉連合会の会員同士の連携を図り、自立促進のため、各種研修、交流会等の活動に要する経費に対し助成。母子寡婦会員及びその家族の福祉向上を目的として、旧合志町では昭和32年に戦争未亡人の会を前身として発足し、同時に旧合志町より助成していた(宮田会長に確認。助成については予想)。旧西合志町では昭和40年代初めに、西合志町母子寡婦福祉連合会として発足し、旧西合志町社会福祉協議会より助成があった。平成18年2月の合併を機に、平成18年4月より合志市母子寡婦福祉連合として新たに発足された。ひとり親家庭の会員相互の連携と活動の充実を図るとともに、地域の母子・父子家庭及び寡婦の福祉向上に資することを目的として事業を行っており、その活動に対して補助を行う。令和元年度より合志市ひとり親家庭福祉協議会へ名称変更。
【業務の流れ】	事業計画書等の受付、審査 ②助成金の交付決定伺い ③交付決定通知書 ④補助金交付申請書の受付、審査 ⑤実績報告書及び補助金請求書等の受付、審査 ⑥補助金支払の伺い ⑦支払業務(支出負担行為、支出命令書等作成)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画  
①6年度事務事業の成果・実績  
会員の研修、親睦活動に対する補助金交付を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容) ③予算の主な増減の理由  
会員の研修、親睦活動に対する補助金交付を行う。 協議会事業の減に伴う使用料及び賃借料の減

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 会員の中で交流ができていると感じる会員の割合	%	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	50	50	50	50	50	50	50	0
事業費	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円					4	8	8	8
	都道府県支出金	千円	6		11	8				
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	52	58	146	50	153	50	50	50
	(A)事業費計	千円	58	58	157	58	157	58	58	58

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)  
毎年、児童扶養手当の現況届の際に、母子寡婦福祉連合会の紹介とイベントのチラシを配っている。加入世帯は少し増えてはいるものの児童扶養手当受給者数と比較してもまだまだ低い状況である。

(4)今後の事業の方向性  
廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)